



2022年10月31日

各 位

会 社 名 伯東株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 阿部 良二
(コード：7433 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部長 中山 正弘
(TEL03-3225-8931)

通期連結業績予想および配当予想の修正並びに剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2022年10月31日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月28日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想および配当予想を修正するとともに、剰余金の配当を決議いたしましたので、お知らせします。

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	197,000	7,000	6,900	5,000	254.82
今回修正予想（B）	227,000	12,000	11,700	8,000	418.61
増減額（B－A）	30,000	5,000	4,800	3,000	—
増減率（％）	15.2	71.4	69.6	60.0	—
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	191,495	7,304	7,411	4,970	248.48

（修正の理由）

売上高につきましては、電子部品事業において自動車、産業機器を中心に半導体需要が堅調に推移しており、電子・機器事業においても半導体製造関連の活発な設備投資により売上が伸長しました。一部に半導体製品等の供給制約による影響は残るものの、現時点において前回公表値を上回る見込みとなりました。

利益面におきましては、売上高の増加に伴う利益の増加に加えて、主に電子部品事業における円安の影響等による利益率の改善により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回公表値を上回る見込みとなりました。

（注）上記に記載した予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により上記予想値とは異なる可能性があります。

2. 剰余金の配当（第2四半期末配当）

当社は、2022年10月31日開催の取締役会において、以下のとおり、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しました。

	決 定 額	直近の配当予想 (2022年4月28日公表)	前期実績 (2022年3月期中間配当)
基 準 日	2022年9月30日	2022年3月31日	2021年9月30日
1株当たり配当金	120円00銭	80円00銭	60円00銭
配当金総額	2,293百万円	—	1,208百万円
効力発生日	2022年12月6日	—	2021年12月6日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想		80.00	160.00
今回修正予想		130.00	250.00
当期実績	120.00		
前期実績 (2022年3月期)	60.00	100.00	160.00

（修正の理由）

当社は、株主の皆様への利益還元と資本効率の改善を経営上及び財務上の重要課題と位置づけ、2021年4月に公表いたしました中期経営計画「Change & Co-Creat 2024」において、計画期間中は配当と自己株式の取得により、「総還元性向100%」を目標とする株主還元方針を定めております。

この方針に基づき、2023年3月期の通期連結業績が前回予想を上回る見通しとなりましたので、第2四半期末配当につきましては、普通配当を1株当たり120円とし、期末配当につきましては普通配当を1株当たり130円とすることを見込んでおります。この結果、年間配当予想は1株当たり250円、連結配当性向は58.8%となります。

また、2022年10月31日開催の取締役会において15億円を上限とする自己株式の取得を決議しております。これにより、年間配当金と本年5月に実施した自社株式の取得を合わせ「総還元性向100%」となる見込みです。

（注）上記に記載した予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当は今後の様々な要因により上記予想値とは異なる可能性があります。

以 上